

総務委員会・広報委員会共催 第38回消費者問題懇話会 報告

12月14日(水)、総務委員会・広報委員会共催で大阪産業創造館にて「第38回消費者問題懇話会」が開催され、過去最多の48名が参加しました。今回は、「企業・消費者 日常で身近に迫るリスク～電化製品や日用品等、そしてSNS～」と題し、懇話会としては初めての試みとして、NITE 長田 敏氏、NIT 情報技術推進ネットワーク(株) 篠原 嘉一氏によるリレートークを行いました。

第一部は、長田氏による「電化製品や日用品等に潜むリスクを低減するために」というテーマで講演いただきました。電化製品や日用品の年ごとの事故件数のトレンドや製品事故の分析結果や、実際に起きた事故事例について、NITE で行った再現実験の動画も交えて説明がなされました。特に洗濯機で防水性の繊維の脱水操作に入った際の駆け回る洗濯機のさまには驚きの声が上がりました。また、リスクを見える化するための手法(R-Map)についても詳しく説明があり、最後は「リスクを低減する6則 ～HITO PR」で締めくくられました。

第二部は、篠原氏による「スマートフォン(SNS)のリスク ～あなたの投稿は消せない～」の講演でした。

急速に進化を続けるスマートフォンを安全に正しく使うための講演として、SNSアプリに潜むリスク、事例の紹介がありました。特に、GPS機能やそれと連動した写真投稿の危うさなど、新鮮且つ驚きの内容で参加者も食い入るように聴講し、極めて参考になり有意義な講演でした。ポケモンGOが無料な訳は、ゲーマーが歩くことにより地図が出来上がり、それが将来的には車の自動運転に利用されるという、目から鱗のような話もありました。篠原講師の講演は何度も聴講したことがあるという参加者も多かったですが、聴くたびに内容がバージョンアップしており大変良かったとの声が多く聞かれました。

日常生活の中で、ゼロリスクはあり得ないことです。今回の講演を通じて、企業、行政、消費者がそれぞれリスクを認識し、それと向き合いながらリスクを最小化し、身体被害、財産被害、風評被害から守るためにどのように注意し行動するべきかを考える非常に良い機会となりました。(丸山 明夫)